

## オーディオ実験室収載

### モーツアルト盤を聴く (91) (HP 収載) ー最新アナログシステムでの試聴(91)ー

#### 1. 始めに

前報(90)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

#### 2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

試聴システムは仮想アースに加えて、今回からスピーカーアキュライザーSPA-7 が加わっています。

音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回も宗教曲です。

PHILIPS 6527 207

モーツアルト Vesperae Solemnnes Confessore

Ave Verm Corpus

Inter Natos Mulianum

Alma Dei Creotpris

Quis Te Comprehendat

Sanct Maria, Mater Die

Gerhard Schmidt Garden 指揮 English Baroque Ensemble

#### 3. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

PHILIPS 盤ということで、RLAA、正相、第4時定数 High で聴いていきました。収録曲は前報(90)とほぼ同じであり、ソリスト、合唱陣、オーケストラの構成です。

合唱の各パートの協和、ソリストの定位とステージ感、弦楽のソフトな響き、通奏低音の明瞭さなども前報(90)同様です。

Gerhard Schmidt Garden 指揮 English Baroque Ensemble の演奏は、前報(90)のグシュルバウアー指揮ウイーンバロック合奏団の演奏と比べ、力強くクリアな響きをしています。

#### 4. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレイク、Crystal E に加えスピーカーアキュライザーなどの総合的な効果として、上記の盤の特徴が把握できました。

以上